

楽籠大会の充実案について

文責 坂上 (34期)

今回、このような案を出すに至ったのは、前回の幹事会での町田会長の発言（「楽籠大会で、現役とOBとの交流を深めるのがOB会活動の原点である」という趣旨）を受け、ここで一度楽籠大会というものを見直してみようと考えたためです。大会をよりよくしていくためのご意見を出していただければ幸いです。

【楽籠大会の概要】

- \* 楽籠大会は年に2回あり、昼の部・夜の部ともに現役が主導で行っている。OBの参加者は10~30名ほど。日吉の普通部が使用できなくなっからは、昼の部は主に旗の台文化センターで実施。夜の部は旗の台の「庄や」で実施。
- \* 昼の部（体育館）は、ここ数年はアップ→東西対抗戦→フリースロー大会→現役対OB戦という流れで行われている。
- \* 夜の部（居酒屋）は、川先杯授与→現役による自己紹介→OB（若手から順に）の話→若き血→エールというのが基本的な流れ。

【楽籠大会の本来の意義】

- \* 現役とOBが、共通項であるバスケットを通して交流するのは、双方の発展にとって最もよい機会である。
- \* 現役にとっては、卒業生のプレイや肉声に触れることで、多様な価値観を知り、広い意味でのキャリア形成という点でよい影響を与えることになる（はず）。
- \* OBにとっては、同窓会的な楽しみを享受でき、普段なかなか接する機会を持ってないバスケットや後輩とのふれあいを楽しむことができる。

【現状（坂上の私見）】

- \* OB会が大所帯となり、ベテランOBの参加が増える一方、若手OBの参加率はいまひとつである。特に夜の部は、若手がほとんど参加していない。
- \* 昼の部・夜の部双方とも、現役担当のOBが手取り足取り教えてあげてはじめて運営できているという面が否定できない。
- \* 昼の部では、フリースロー大会などを作ることで、幅広い世代のOBが楽しめるようになっていると一定の評価ができる。
- \* 夜の部では、OBの人数が多くなるとそれだけで会が終了してしまう点や、現役がしっかりとその場を仕切れず、飲み会をすること自体の意義が薄れている点が問題であると考えている。
- \* 今回この案を出すに当たって、様々な世代のOBにご意見をうかがったところ、「かつては川先に会いに行くという大きな目的があった」「かつては夜の部はなく、体育館付近の食堂などで軽食を食べつつOBの話のうかがった」「飲み会はその後OB有志が幹事学年を連れて行っていた」などの声を聞いた。
- \* 現在、同窓会的な集まりとしては、（特にベテラン世代の方々）ゴルフや各種飲み会などのイベントが多数存在している。また、現役との交流についても就職ガイダンスやSO活動などの機会があり、「楽籠大会でないとできない」ことが見だしにくいという新たな問題点も発生している。
- \* また、やはり根本的には、かつての「川先」にあたるような「求心力」がなく、全員が共通の目的で楽籠大会に参加しにくくなっている現状がある（これはOB会のあらゆる活動にいえることですが…）。

## 【充実案】

\* 上記の意義に照らして、ねらいとしては、「幅広い世代のOBの参加」「OBの出席率アップ」「バスケットを通じた現役との交流」という点を考慮に入れ、以下のような案を考えてみた。

日時：年2回が理想だが、年1回でもよいので、日程を固定化（〇月の第〇日曜日、というふう）にする。

場所：OBが家族を連れてこられるような、観客席のある体育館。2面あることが望ましい。  
（例・戸越体育館、品川総合体育館、浜町体育館など）→慶應の塾高などは借りることは不可能か？

流れ：日曜日の朝に集合。

現役を（上級生と下級生）2チーム、OBを（新入りOB、若手、中堅、ベテラン）4チームくらいに分け、トーナメント戦を行う。途中、昼食や東西対抗戦・フリースロー大会をはさみ、15時頃までには終了。

終了後は特に飲み会という形ではやらない。理想としては、会議室のようなところを借り、ケータリングなどを利用して、簡単な立食パーティーのようなものができるとうい。OB会の事務局と現役の幹事学年は原則として参加し、会場のセッティングなどをする。現役がいれば自己紹介をし、幹事学年は活動報告をする。OBはひとことスピーチ。2時間程度で終了し、その後飲みに行きたい人は行く、という感じ。

長所：日程を固定化し、曜日や時間帯に配慮することで、若手や中堅のOBが今までより参加しやすくなる。バスケットを社会人になっても続けている人、またはその情熱が冷めていない人にとっては、「世代対抗戦形式」は参加の動機付けとなりやすい。現役にとっても、夜の部などの負担が減ることになる。

短所：バスケット自体より同窓会的なものを求める人にとっては、退屈に感じるかもしれない。また、体育館やパーティーのスペースが、理想的な時期に確保できるかどうかが大問題。また、トーナメント形式にするなら、最低4チームの成立が不可欠だが、それが可能か。

分担：軌道に乗ってきたら、体育館の確保やバスケットの仕切りは現役に任せる。終了後のパーティーについては、基本的にはOB会事務局で行う。

その他：参加するOBを事前に現役を含めたみんなに知らせておくとか、当日は名札をつけるようにするとか、互いが交流しやすくなる仕掛けを考えたい。また、公式HPやメールなどを利用し、大会の終了後にOBから現役へのメッセージなどを伝えられるようにしたい。